

# 長野県工業技術動向調査結果について

長野県産業労働部産業技術課

## 1 調査概要

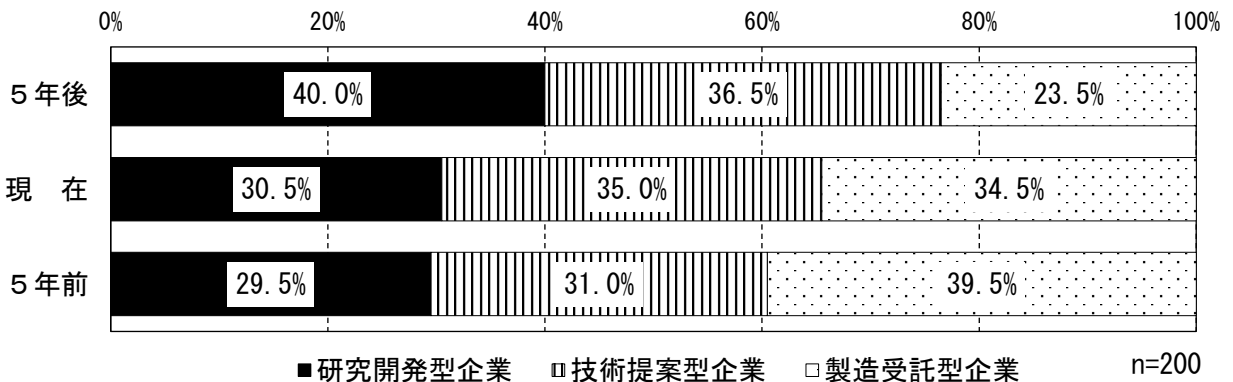
- (1) 目的 県内製造業の工業技術に関する最近の動向を把握し、今後の技術支援施策に反映する。(隔年実施)
- (2) 時期 令和3年9月から11月
- (3) 方法 工業技術総合センター職員によるメール、電話等での聞き取り調査
- (4) 対象 県内企業200社
- (5) 業種 飲食品：食品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業（41社）  
電機等：飲食品を除く製造業（159社）

## 2 結果概要

### (1) 全業種

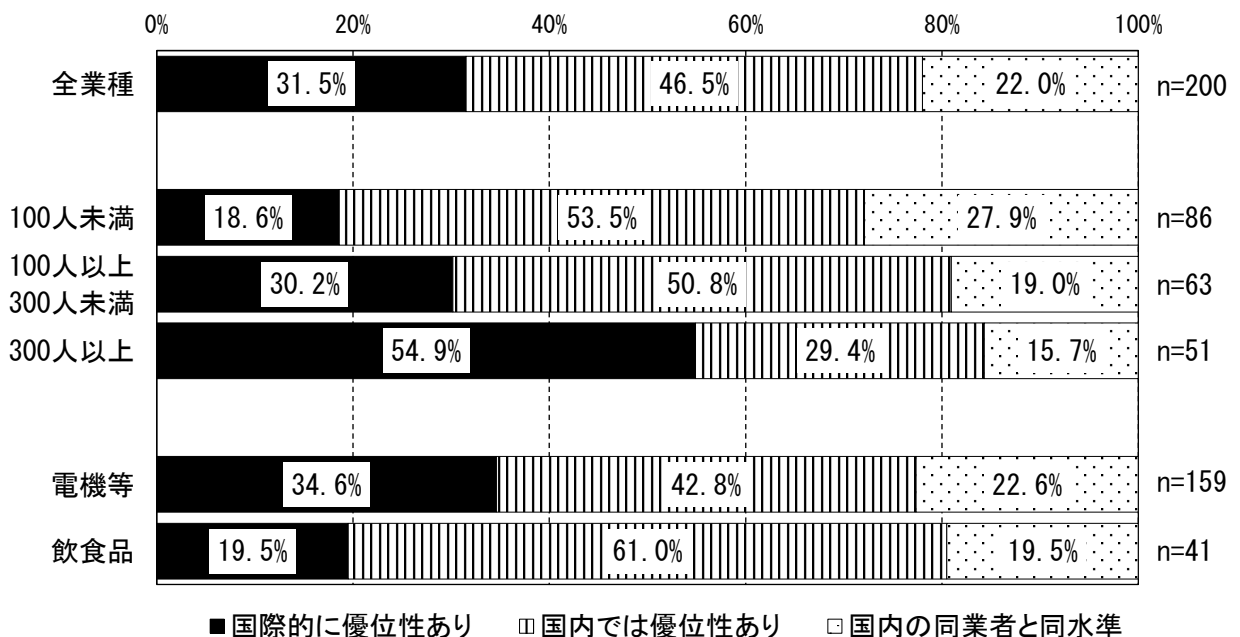
#### ア 事業形態の認識

- ・「研究開発型企业」は、「現在」の30.5%から「5年後」は40.0%と増加した。
- ・「製造受託型企业」は、「現在」の34.5%から「5年後」は23.5%と減少した。
- ・「5年前」との比較でも同様となった。



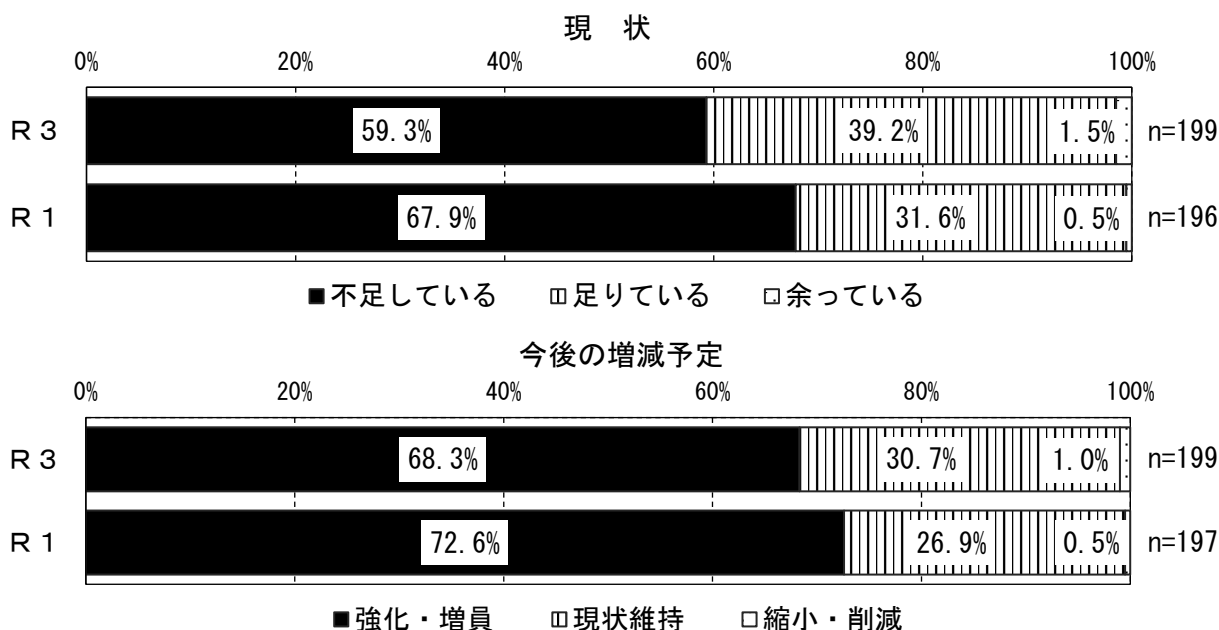
#### イ 最も強みのある技術の優位性

- ・「国内では優位性あり」が46.5%、「国際的に優位性あり」が31.5%、「国内の同業者と同水準」が22.0%の順となった。
- ・従業員数が多いほど、業種では電機等が、「国際的に優位性あり」が多かった。



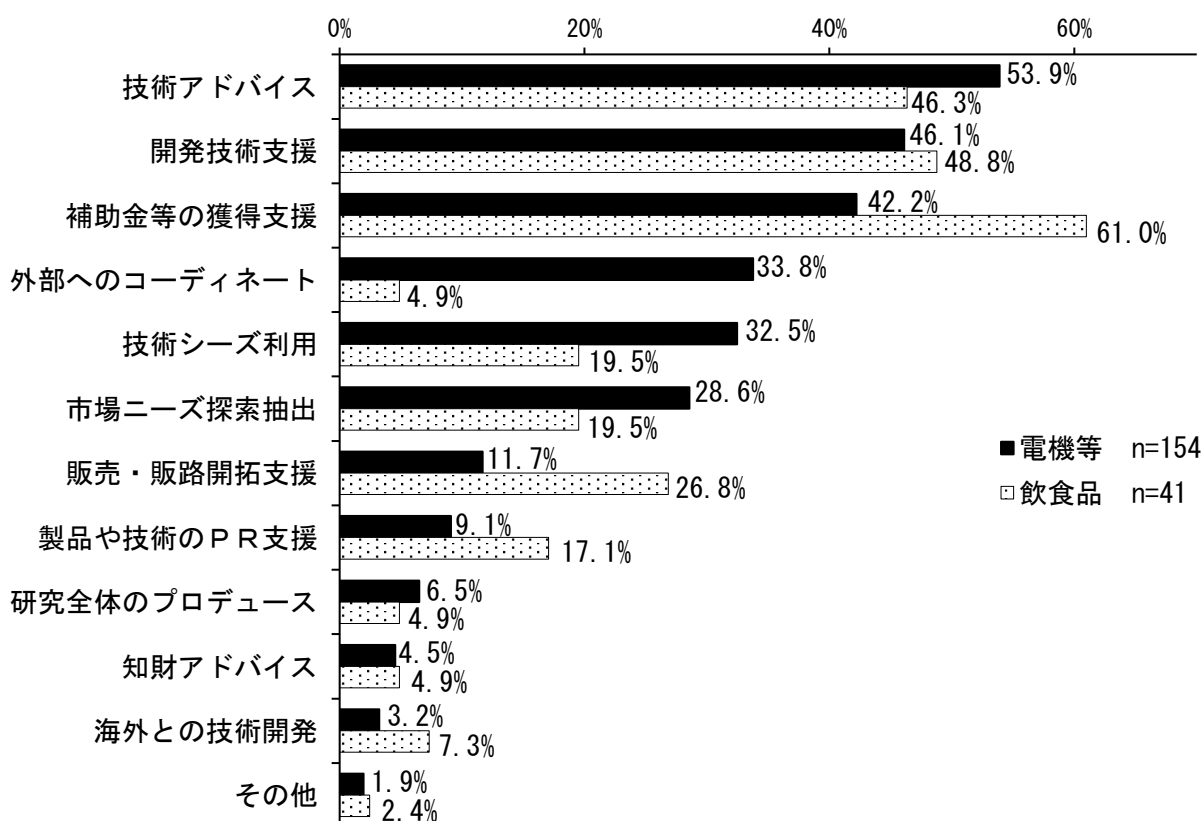
### ウ 研究開発人員の状況

- ・現状は「不足している」が59.3%と前回から8.6ポイント減少し、「足りている」が39.2%で7.6ポイント増加した。
- ・今後の増減予定は「強化・増員」が68.3%となり、前回調査から4.3ポイント減少し、「現状維持」が30.7%で3.8ポイント増加した。



### エ 産学官連携で県や産業支援団体へ期待すること（3項目以内回答）

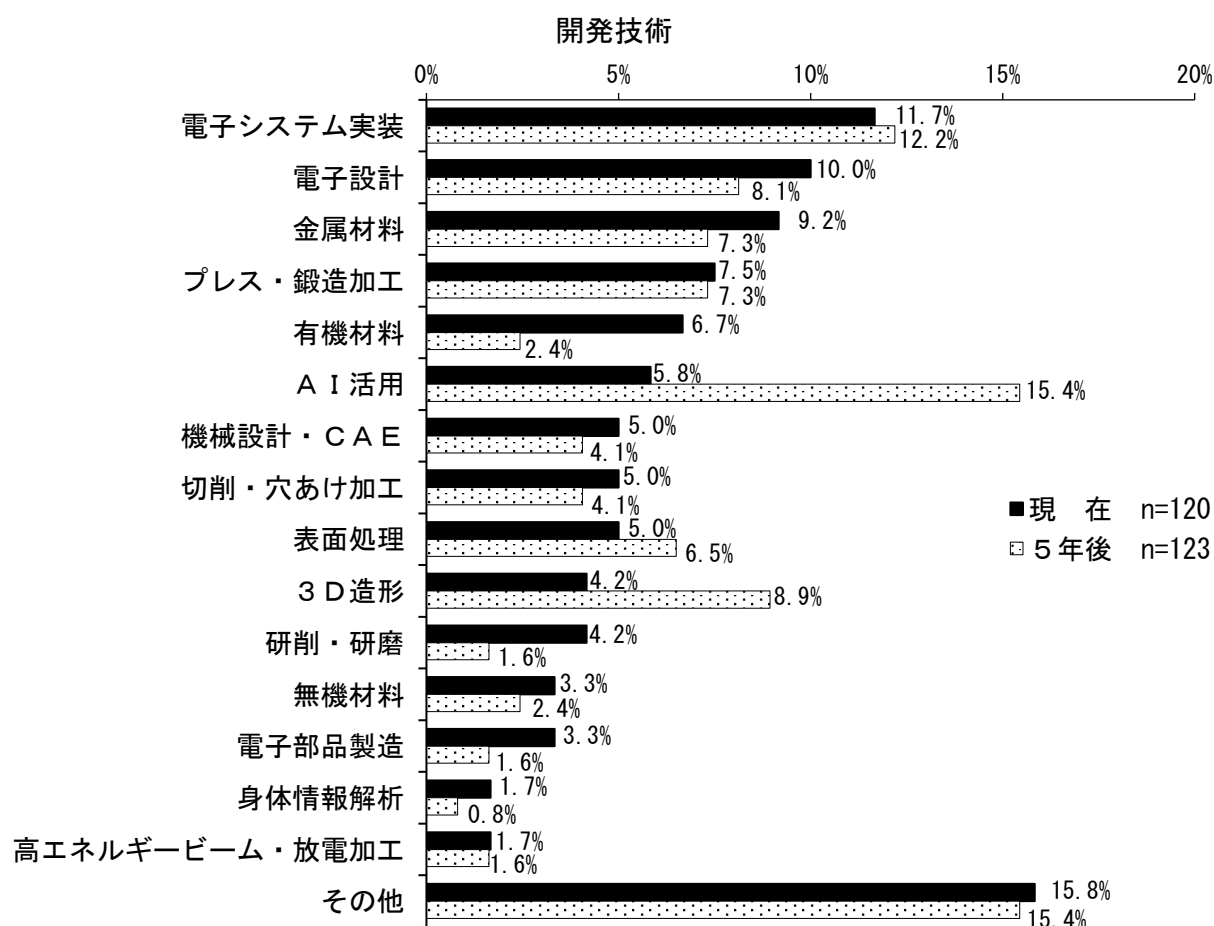
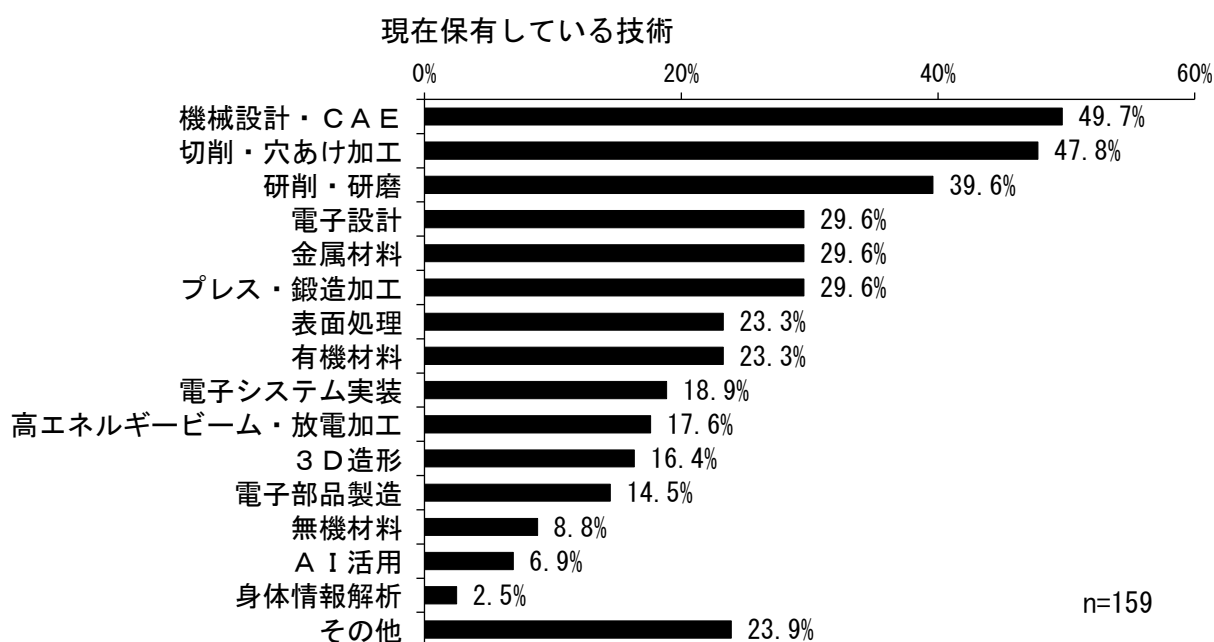
- ・電機等では「技術アドバイス」が53.9%と最も多く、「開発技術支援」が46.1%、「補助金等の獲得支援」が42.2%の順となった。
- ・飲食品では「補助金等の獲得支援」が61.0%と最も多く、「開発技術支援」が48.8%、「技術アドバイス」が46.3%の順となった。



(2) 電機等

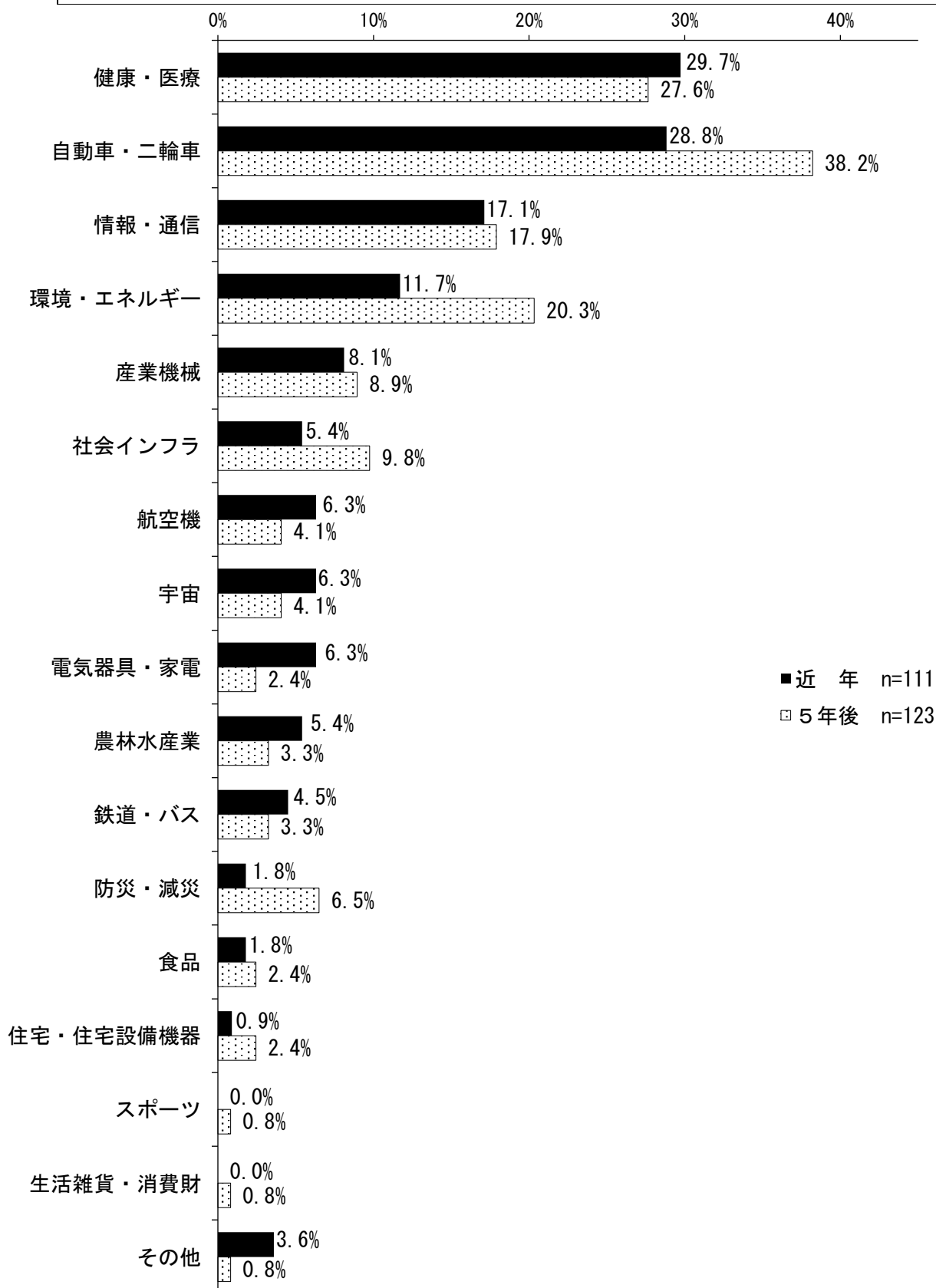
ア 現在保有している技術と開発技術

- ・保有技術は「機械設計・C A E」が49.7%と最も多く、「切削・穴あけ加工」が47.8%、「研削・研磨」が39.6%の順となった。
- ・開発中の技術は「電子システム実装」が11.7%と最も多く、「電子設計」が10.0%、「金属材料」が9.2%の順となった。
- ・今後5年で開発したい技術は「A I活用」が15.4%と最も多く、「電子システム実装」が12.2%、「3 D造形」が8.9%の順となった。



イ 新たに関わり始めた産業分野（複数回答）

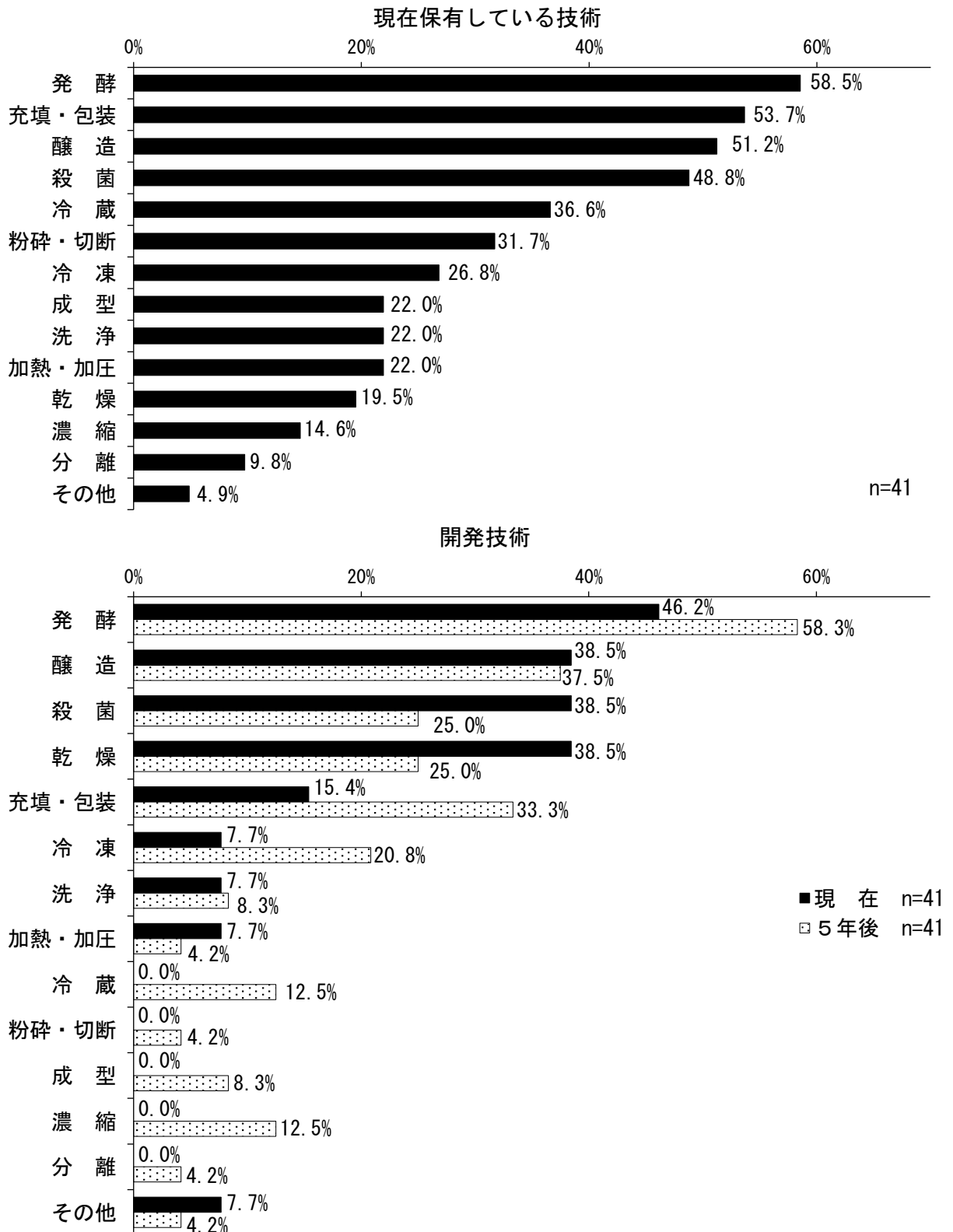
・近年新たに関わり始めた分野は「健康・医療」が29.7%と最も多く、「自動車・二輪車」が28.8%、「情報・通信」が17.1%の順となった。  
 ・5年後に新たに関わりを強めたい分野は「自動車・二輪車」が38.2%と最も多く、「健康・医療」が27.6%、「環境・エネルギー」が20.3%の順となった



(3) 飲食品

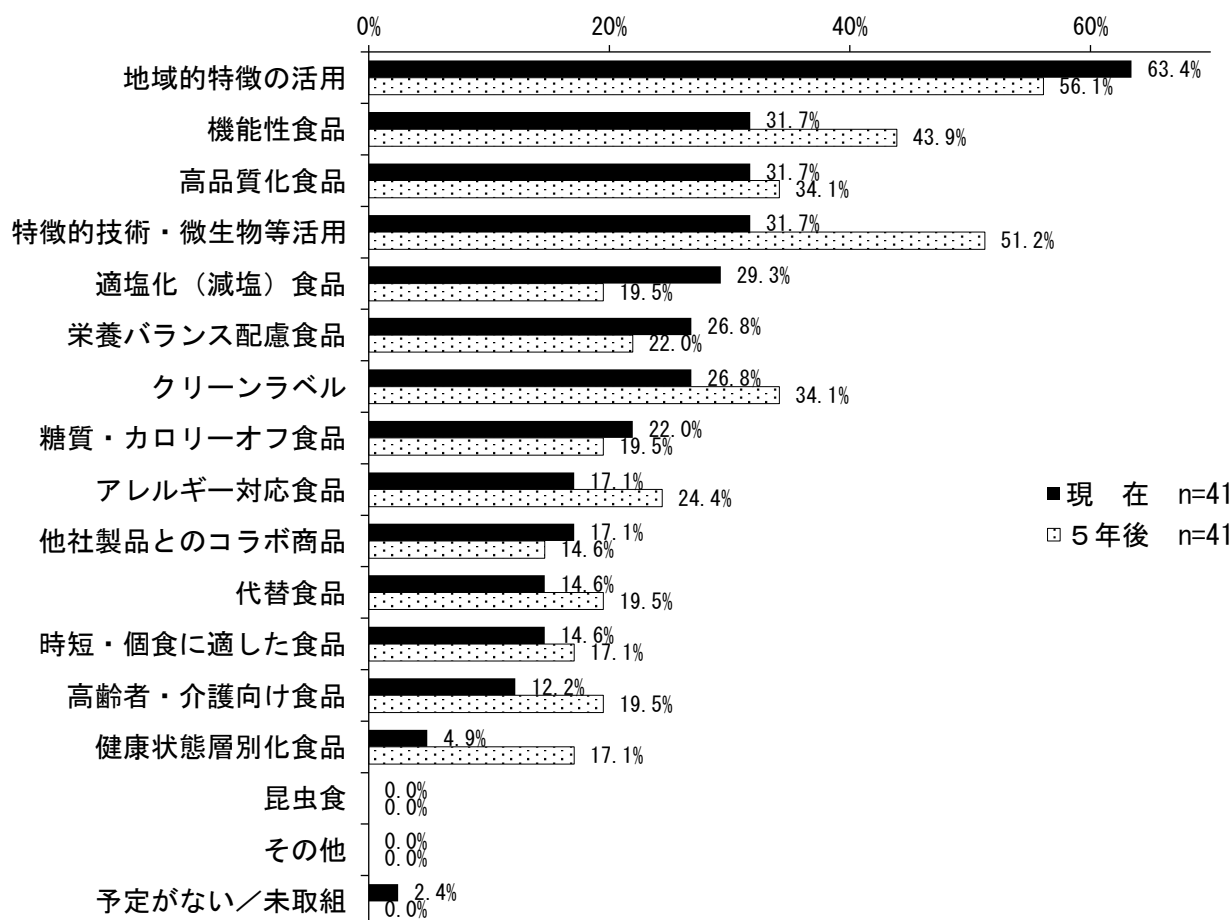
ア 現在保有している技術と開発技術（複数回答）

- ・保有技術は「発酵」が58.5%と最も多く、「充填・包装」が53.7%、「醸造」が51.2%の順となった。
- ・開発中の技術は「発酵」が46.2%と最も多く、「醸造」・「殺菌」・「乾燥」が38.5%の順となった。
- ・今後5年で開発したい技術は「発酵」が58.3%と最も多く、「醸造」が37.5%、「充填・包装」が33.3%の順となった



## イ 食品開発の取組（複数回答）

・ 5年後に取組みたいことは「地域の特徴の活用」が56.1%と最も多く、「特徴的技術・微生物等活用」が51.2%、「機能性食品」が43.9%の順となった。



## ウ ブランド力向上のための取組（複数回答）

・ 5年後に取組みたいことは「全国、県品評会等への出品」・「HP、ECサイト、SNSによる発信」が65.9%と最も多く、「県内産原料イメージ活用」が63.4%の順となった。

